

## 31. 「西区在宅ケア連絡会」の活動について (VIII)

～地域包括ケアシステム構築をめざして～

坂本 仁\*<sup>1</sup>、鎌倉嘉一郎\*<sup>2</sup>、岡部寛裕\*<sup>3</sup>、船越 龍\*<sup>4</sup>、小池忠康\*<sup>5</sup>

## はじめに

地域医療にとっての今後の課題として、高齢化に対応する医療と介護分野と連携のもと地域ケア機能全体を向上させようとする活動を行うことがあげられる。札幌市西区では、平成9年8月、西区内に居住し在宅療養を希望する人の、在宅療養支援のための連絡調整をはかることを目的とした「西区在宅ケア連絡会」が発足し活動を行っている。前回までに、第79回までの連絡会の活動を報告したが、今回はその後の平成17年12月、第90回までの活動を報告する。

## 活動状況

「西区在宅ケア連絡会」は、ほぼ毎月1回開催されており、出席者は医師、看護師、PT、OT、病院勤務のSW、保健師、行政職、さらには調剤薬局、栄養士、その他の在宅療養関連の職種からの参加など、毎回約60名を数えている(写真1)。最近では症例の検討は数少なく、むしろ、地域全体を広く把握したケアシステムを考える研修会の開催が多くなってきている(表1)。

平成17年2月からの3回は、地域包括ケアシステム構築をめざしてと題し、2月には在宅介護支

援センター、3月には居宅介護支援事業所、4月には居宅サービス事業所について、それぞれ事例を通してこれからの連携のあり方を議論する機会とした。そして、5月にはシンポジウム「地域包括ケアシステムをめざして」～平成18年度新設される地域包括支援センターへ望むこと～を開催、一般市民を含む250名が参加した(写真2)。基調講演の北星学園大学杉岡教授は、「現在、コミュニティケアの本格的展開を始めなければならない、という課題に直面している」とし、このような地



写真1 第80回連絡会風景

表1 活動状況

回	開催日	出席者(医師)	検討事例	特集および研修テーマ
80	17年2月8日	51(3)	—	地域包括ケアシステム構築をめざして：その1 在宅介護支援センターについて
81	3月8日	43(6)	3	その2 居宅介護支援事業所について
82	4月12日	56(4)	3	その3 居宅サービス事業所について
83	5月17日	250	—	シンポジウム「地域包括ケアシステムをめざして」 ～平成18年度新設される地域包括支援センターへ望むこと～
84	6月14日	47(4)	1	シンポジウムの発言内容を振りかえり、さらに議論を深めた
85	7月12日	74(7)	—	自立支援法を考える： その1 精神障がい者の地域ケアについて：地域生活支援センター手稲 吉澤さん
86	8月9日	48(6)	—	その2 知的障がいへの地域支援について：札幌この実会情報センター 越戸さん
87	9月13日	52(5)	—	その3 身体障がい者福祉について：HOP障害者地域生活支援センター 竹田さん
88	10月11日	45(5)	—	「活動報告書(II)」をもとに、これまでの事例をその後の経過報告および再検討
89	11月8日	57(6)	—	高齢者の栄養評価、食のアセスメント
90	12月13日	48(6)	—	口腔ケアの実際について(あしだ歯科 芦田医師、さいき歯科 斎木医師)